

製品事業本部の取り組み

共同企業体東京乳剤センターの新規開設

2023年7月1日、当社初の乳剤販売工場である共同企業体東京乳剤センター（出資比率:当社50%（スポンサー）・昭和瀝青工業50%）が東京都大田区城南島にて新規事業としてスタートしました。乳剤とは、舗装工事において路盤、基層上面にアスファルト合材がなじみやすくなるように散布する瀝青材料のことです。

今回、当社と共同企業体を構成する昭和瀝青工業株式会社は、兵庫県姫路市に本社があり、西日本を拠点としています。1965年の創業以来、ストレートアスファルトの貯蔵販売から、改質アスファルトやアスファルト乳剤の製造販売を行う歴史ある企業です。今般、当社の新規事業企画と、同社の関東地域への新規参入という両者の方針が合致したことにより、当共同企業体組成の運びとなりました。

当社が2015年より運営する産業廃棄物中間処理施設である城南島リサイクルセンター内に、一般乳剤用と改質乳剤用の50tデポタンク2基を新設しました。また、乳剤散布を行う機械であるディストリビューターも配備し、さらに増車していく計画です。このディストリビューターは近年増加している速分解型乳剤散布にも対応しています。

製品である乳剤は、昭和瀝青工業の工場で製造されたものを運搬し、当デポタンクに一次貯蔵することにより、ここを拠点としてディストリビューターによる現場配達やドラム缶、18リットル缶などで小売り商品として販売も行います。



東京都内にはこれまで乳剤供給設備がありませんでしたが、当センターはその立地条件の良さを強みに展開し、日夜舗装工事が施工されている都内舗装工事現場への迅速な乳剤供給を図ります。また、当社旗艦工場である東京青海合材工場の近接地にあることから、400余社の舗装顧客を有している東京青海合材工場とのシナジー効果を発揮。合材と乳剤のオーダーをワンストップで対応することが可能となり、より顧客の利便性向上に寄与し、販売拡大を目指します。

当社の中でも有数の事業量を誇る関東エリアにおいて、新たな事業である乳剤事業に取り組み、利益増大のもう一つの柱として、これから邁進していきます。



次世代技術研究所

舗装技術に使用する新材料や施工方法、DX技術などの開発促進を行う施設です。

- ◎アスファルトプラントおよびコンクリートプラントで製造実験
- ◎実験プラントで製造した材料を試験施工フィールドにて施工実験
- ◎ICT舗装技術などのDX技術や革新的な新技術の開発



次世代舗装試験所

次世代技術研究所で開発した新たな舗装技術の耐久性を寸寸大の走路にて評価可能とする走行試験場です。

- ◎実験走路 1周909m（50m×18種類の舗装を同時に評価）
- ◎大型トレーラー5台を24時間自動運転